Panasonic®

取扱説明書
第2版

無線LANアダプター

品番　**BB-HGA102**





このたびは、パナソニック「無線LANアダプター」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（10～14ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特　長

特　長

BB-HGA102 (以下、本製品という) は、以下の特長をもつ無線LANアダプターです。

■ リピーター機能搭載

モード切替スイッチ搭載により、クライアントモード、リピーターモードを切り替えて使用することができます。リピーターモードで使用すると、より広い範囲や電波が届きにくい場所に中継できるようになります。

■ IEEE 802.11a ／b ／g(切替)対応の高速無線LAN

2.4 GHz 54 Mbps※1 (IEEE 802.11g※2)、2.4 GHz 11 Mbps※1 (IEEE 802.11b※3)、5.2 GHz 54 Mbps※1 (IEEE 802.11a※4) を切り替えて使用できます。802.11g モードは802.11g 専用モードと、802.11g と802.11b が同時に使えるモードの2 種類を設定できます。

■ 無線自動設定機能（セキュリティ設定含む）

当社製カメラコントロールユニット BB-HGW502 (以下、カメラコントロールユニットという) とイーサネットケーブルで接続することにより、本製品の無線設定、および、セキュリティ設定（WEP※5 設定）が自動的に設定されます。

■ 小型軽量

壁掛け対応で、ネットワークカメラやパソコンなどの無線化にも適しています。

■ 高感度外部アンテナ搭載

前後に±100° 動かすことができる可動式アンテナを採用しています。アンテナの角度調整により良好な電波状況を維持できます。

■ サイトサーベイ機能

無線機器から出力される定期的な信号を取り込み、無線情報、ならびに電波強度を一覧で表示します。

※1　：表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません

※2, ※3, ※4　：無線LANの規格です。詳細は61ページを参照ください。

※5　：「WEP（Wired Equivalent Privacy）64/128/152 bit」データを暗号化することにより、データのやり取りを知られにくくできます。

特　長

【略称について】

- Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® XP Home Editionです。（以下、Windows XPという）
- Windows® 2000の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® 2000 Serverです。（以下、Windows 2000という）
- Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。（以下、Windows Meという）
- Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemです。（以下、Windows 98SEという）

【商標／登録商標について】

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindows、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ

接　続

その他

はじめに

本説明書に使用しているマークについて

- ☞ ……… 参照するページを示します。
- おねがい …… 操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
- おしらせ …… 便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

必要なシステム

ファームウェアの更新や本製品の無線情報を手動で設定する場合、パソコンのウェブブラウザから設定する必要があります。

項目	対応パソコン (手動設定時)
OS	Windows® XP、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® 98SE
インターフェース	10/100 MbpsのLANカードが搭載されていること
メモリー	64 MB以上
プロトコル	TCP/IPプロトコルがインストールされていること
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6.0以降（日本語版）

おねがい

使用しているパソコンについて不明な点がありましたときは、ネットワークカメラカスタマコンタクトセンターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ 当社対応製品 (別売品) (平成16年12月現在)

ネットワークカメラ

KX-HCM1、KX-HCM2、KX-HCM180、BB-HCM310、BB-HCM311、KX-HCM130、KX-HCM170※、BB-HCM331、BB-HCM371、BB-HCM381

カメラコントロールユニット (アクセスポイント)

BB-HGW502

ネットワークデジタル複合機　WORKiO

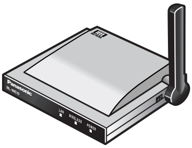
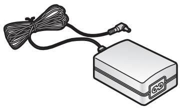
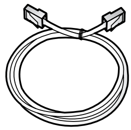
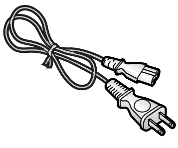
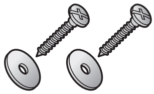
DP-3030P/DP-3030V/DP-3030VA
DP-2330P/DP-2330V/DP-2330VA
DP-6030/DP-4530/DP-3530

※KX-HCM170は有線接続にのみ対応しております。本製品と無線接続はできません。

はじめに

本体と付属品

ご使用いただく前に、本体と付属品を確認してください。万一、不備な点がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

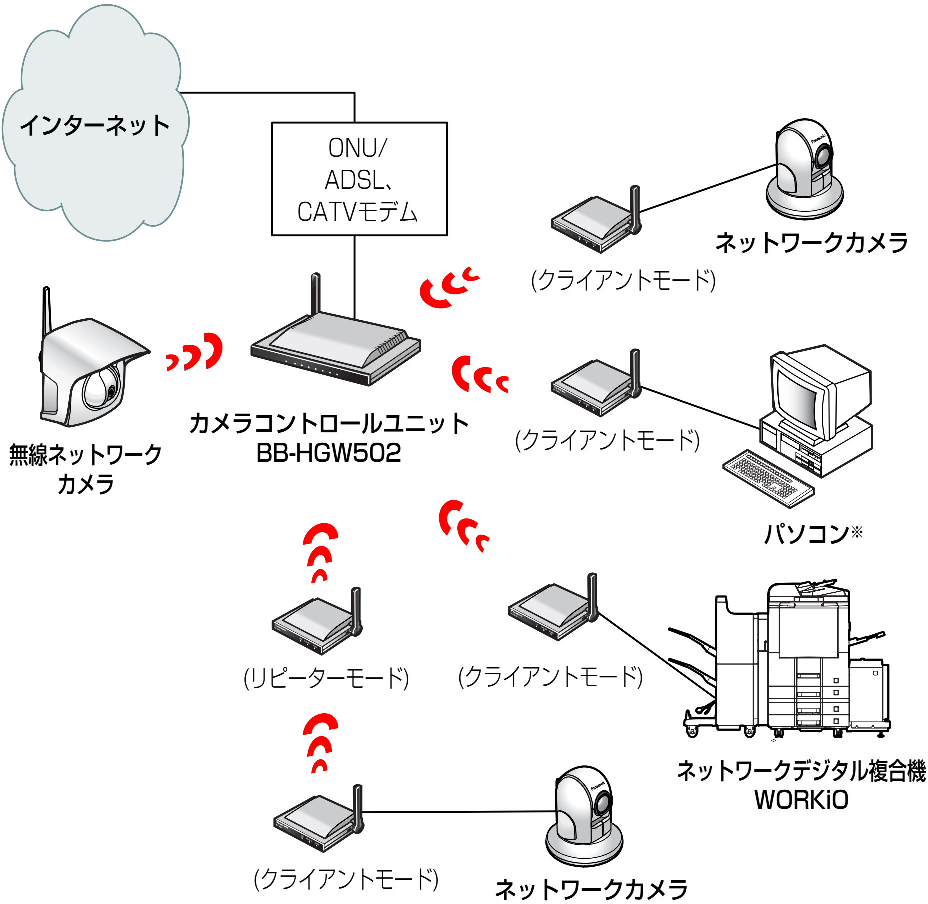
● 本体........................1台 	● ACアダプター ....1個 (コード長　約1.8 m) 	● イーサネットケーブル (カテゴリー5ストレートケーブル) ....1本 (ケーブル長 約1 m) 
● ACコード.....................1本 (コード長　約55 cm) 	● 壁掛け用ねじ／ ワッシャー ....各2個 (ねじサイズ：タッピングねじ呼び径3.5×18 mm) 	□ かんたんガイド..1部 □ ご使用の前に／ 困ったときには......1冊 □ CD-ROM............1枚 □ 保証書 1式

はじめに

【クライアントモード機能について】

本製品は無線ブリッジ機能を持っており、LANポートをもつ有線ネットワーク機器を無線化することができます。

- 1台の有線ネットワーク機器を無線化することができます。
- クライアントモードで使用時は、カメラコントロールユニット、 およびリピーターモードの本製品に、無線でリンクすることができます。
- 他社製無線アクセスポイントとの接続性は保証いたしかねます。

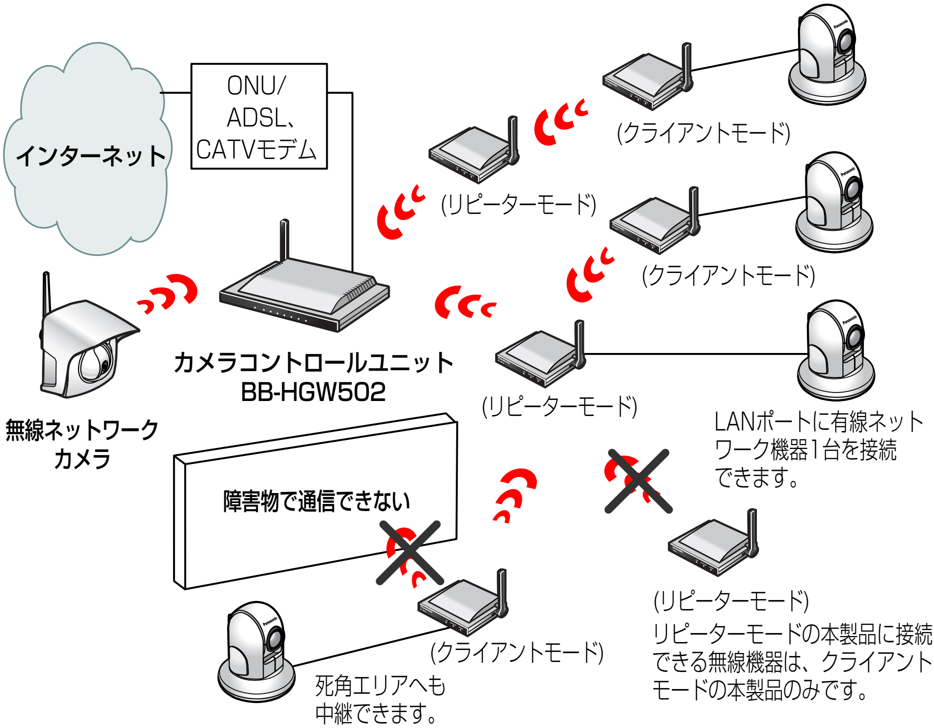


※ パソコンを本製品に接続して無線で使用する場合のネットワーク設定については、カメラコントロールユニットの取扱説明書を参照してください。

【リピーターモード機能について】

本製品は、クライアント機能に加え、カメラコントロールユニットと無線機器を中継するリピーター機能をもっています。

- リピーターモードの本製品に接続できる無線機器は、クライアントモードの本製品のみです。(リピーター配下にリピーターを設置することはできません。)
- 本製品のリピーター配下において、クライアントモードの本製品2台と、有線ネットワーク機器1台、あわせて3台までをカメラコントロールユニットに中継することができます。
- カメラコントロールユニットとリンクできない場合は、中継することができません。



おしらせ

- リピーターモードで使用するには、必ずカメラコントロールユニット（BB-HGW502）が必要です。本製品がカメラコントロールユニットとリンク後、カメラコントロールユニットを見失うと配下のネットワーク機器構成を初期化するために自動で再起動を行います。
- 接続構成を変更した場合は、本製品とのネットワークを短時間で構築するために、カメラコントロールユニットを再起動してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

ACアダプターやACコードを破損するようなことはしない

ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

CD-ROMは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない

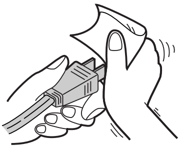
禁　止

大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

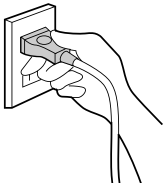
ACコードのプラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● ACコードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACコードのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACコードのプラグを抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ

感電の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

禁　止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはACアダプターを抜く

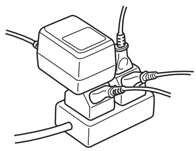
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

● 使用を中止し、販売店へご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

禁　止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

ぬれた手でACアダプターやACコードの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

本製品およびACアダプターをぬらさない

近くに花びん、コップなどを置かないでください。発火・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

- ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造をしない

故障したり火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本製品やACアダプターに触れない

感電の原因になります。

接触禁止

落下させたり、強い衝撃を加えない

けがや故障の原因になります。

禁　止

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない

手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。

禁　止

本製品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない

禁　止

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

本製品内部にクリップやピンなど金属物や異物を入れない

禁　止

感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない

禁　止

落下により、けがの原因になることがあります。

本製品を壁に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける

落下により、けがの原因になることがあります。

水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない

禁　止

感電・ショートや故障の原因になることがあります。

長期間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACコードをコンセントから抜く

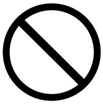
電源プラグを抜く

漏電・感電の原因になることがあります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 注 意

ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加えない



禁　止

損傷や感電の原因になることがあります。

火気を近づけない



火気禁止

火災の原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

（変形・変色または故障・誤動作の原因になります。）

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

動作温度：0 ℃～40 ℃
動作湿度：20 %～85 %
（ただし、結露なきこと）

隣接して使用しているラジオやテレビから2 m以上離してください。
また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

（ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。）

CD-ROMに、テープ、シールやラベルなどを貼らないでください。
また、CD-ROMの裏面に、マジックやボールペンなどで文字を書かないでください。

（読み取り障害の原因になります。）

正しくお使いいただくためのお願い

お手入れの際は、電源を切ってください。

（誤動作の原因になります。）

ジャック内部に触れないでください。

（故障の原因になります。）

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本製品をふかないでください。

（本製品が変形・変色することがあります。）

固くしぼった柔らかい布でふいてください。

（台所用洗剤（中性）を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。）

- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

正しくお使いいただくためのお願い

セキュリティに関するご注意！

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- 本製品を経由したお客様プライバシー情報の漏えい
- 悪意のある第三者による本製品の不正操作
- 悪意のある第三者による本製品の妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

■ 不正な攻撃から守るため、最新のファームウェアを入手してバージョンアップする。
(バージョンアップを怠ると、アクセスできなくなったり、情報の漏えいにつながることがあります。)

■ インターネットからのデータを直接受信する場合、コンピューターウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除を行う。

■ 本製品を盗難に遭いにくい人目に付かない場所に設置する。

■ 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するときは、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻す。

■ 他人に譲渡するときは、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻す。

■ 本製品を廃棄するときは、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻したり、あるいは、電気的消去や物理的破壊などの手段により本製品上の情報を抹消する。

パナソニック システムネットワークス株式会社

正しくお使いいただくためのお願い

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！
お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

無線LANでは、イーサネットケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  　IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
  　メールの内容
  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  　傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
  　コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプター、ネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線LAN製品（以下、無線LAN製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定について、お客様ご自分で対処できない場合には、ネットワークカメラ　カスタマコンタクトセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

上記文掲載URL: http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/jeita_info.html

パナソニック システムネットワークス株式会社

正しくお使いいただくためのお願い

無線通信の使用範囲について

本製品と無線機器の距離が約50 cm～120 m (屋内見通し距離)・約50 cm～600 m (屋外見通し距離) の範囲でお使いください。ただし、IEEE 802.11aは5.2 GHz帯域の電波を使用しています。このため、IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

(無線機器の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

本製品と無線端末の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください。

(電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。
(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

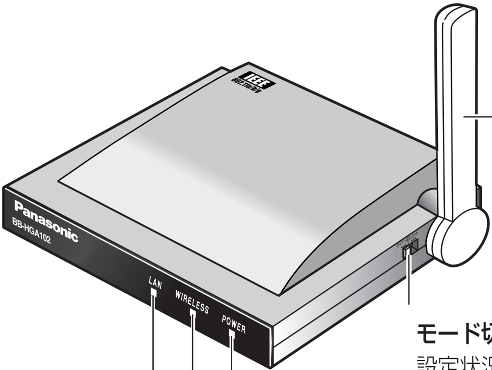
- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz周波数帯域を利用している機器のある屋内

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター（☞ 71ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター（☞ 71ページ）へお問い合わせください。

各部のなまえとはたらき



アンテナ
電波の送受信部

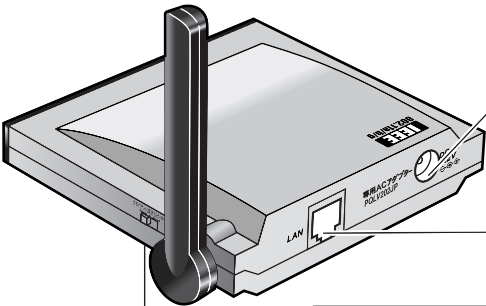
モード切替スイッチ
設定状況により切り替える
- スイッチを切り替えたあと、電源を抜き差しするとモードが切り替わります。

【クライアントモード】
有線ネットワーク機器を無線化して使用する

【設定モード】
無線設定情報をカメラコントロールユニットから自動転送する、または手動で無線情報を設定する

【リピーターモード】
クライアントモードの本製品をカメラコントロールユニットに中継する

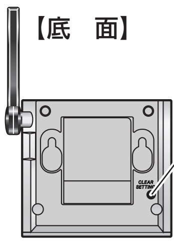
インジケーター
本製品の動作状態やネットワークの状況を表示する



DC INジャック
ACアダプターのDCプラグを接続する

LANジャック
イーサネットケーブルを接続する

【底　面】



CLEAR SETTINGボタン
本製品の設定値を初期値(工場出荷値) に戻す
(☞ 57ページ)

各部のなまえとはたらき

インジケーターについて

インジケーターは、本製品の動作状態やネットワークの状況を表示します。

インジケーター	モード	内容
LAN	すべてのモード	緑点灯　：有線端末と接続しています。 緑点滅　：データ通信しています。
WIRELESS	クライアントモード/リピーターモード	緑点灯　：無線端末と接続しています。 緑点滅　：無線でデータ通信しています。
	設定モード	【自動設定モード時】 緑点灯　：自動設定が完了しています。
		【手動設定モード時】 緑点灯　：無線端末と接続しています。 緑点滅　：無線でデータ通信しています。
POWER	クライアントモード/リピーターモード	緑点灯　：動作中です。 (電源が入っています。)
	設定モード	緑点滅　：自動設定モード※1です。 カメラコントロールユニットとの自動設定中、または自動設定が完了しています。
		オレンジ点灯：手動設定モード※2です。
	すべてのモード	初期化ボタンを押したとき オレンジ点滅：初期化中です。 初期化終了後、再起動後に通常のモード表示に戻ります。

※1 ：電源投入から最初の約30秒間は自動設定モードです。

※2 ：電源投入から約30秒間に自動設定が完了しない場合は、手動設定モードに切り替わります。

おしらせ

- 本製品の起動時は、システム起動に若干時間がかかります。
  約10秒間、POWERインジケーターが緑点滅後、各モードに応じたインジケーター表示をします。
- WIRELESSインジケーターが点灯(点滅)していても、WEPキーの入力値がカメラコントロールユニットの設定値と異なると、データ通信できません。(☞ 41ページ)
- 認証方式がOpen Systemの場合、接続するカメラコントロールユニットとSSIDが一致すればWIRELESSインジケーターは緑点灯します。
  ただし、WEPキーの入力値がカメラコントロールユニットの設定値と異なると、データ通信できません。
- 本製品がリピーターモードのとき、SSIDが一致している場合、無線機器にリンクしてWIRELESSインジケーターが緑点灯することがありますが、当社製カメラコントロールユニット以外の機器とは通信できません。
- 手動設定モード時、本製品はクライアントモードとして動作します。
- カメラコントロールユニットと無線リンク後、一定時間通信が行われないと、WIRELESSインジケーターが消灯し、再点灯することがあります。
  これは無線通信の負荷を軽減するために、カメラコントロールユニットが、無通信の機器を一旦切断するためです。

ご使用になるまでの流れ

無線情報を設定する

■ 無線設定を自動で設定する場合 (☞ 23ページ)

カメラコントロールユニットに接続するだけで、無線の自動設定を行います。

■ 無線設定を手動で設定する場合 (☞ 25ページ)

本製品をパソコンに接続し、パソコンのウェブブラウザから本製品のメニュー画面にアクセスして※1 設定してください。

下記操作は本製品をパソコンに接続し、無線設定の手動画面から操作 します。

■ 無線設定情報を確認する (☞ 47ページ)

■ バージョンアップ (ファームウェアを更新) する (☞ 54ページ)

※1 本製品のメニュー画面にアクセスするには、パソコンのIPアドレスを手動で設定する必要があります。(☞ 25ページ)
IPアドレスを変更する前に、設定しているIPアドレスをメモして、本製品のメニュー画面での設定終了後、IPアドレスを元に戻してください。

ネットワーク機器に接続する

■ クライアントモードで使用する (☞ 50ページ)

本製品を有線ネットワーク機器に接続します。

■ リピーターモードで使用する (☞ 52ページ)

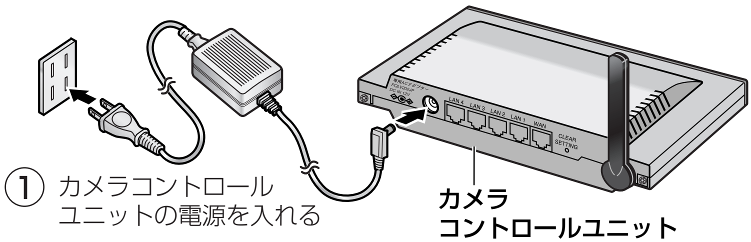
クライアントモードの本製品とカメラコントロールユニットの中継機として使用します。

● リピーターモードで使用時は、アクセスポイントとして、必ず、当社製カメラコントロールユニット（BB-HGW502）をご使用ください。

無線情報を設定する【自動設定】

自動設定する

1 カメラコントロールユニットの電源を入れる



2 本製品のモード切替スイッチを「設定」に切り替える

→ 下記イラスト ② 参照

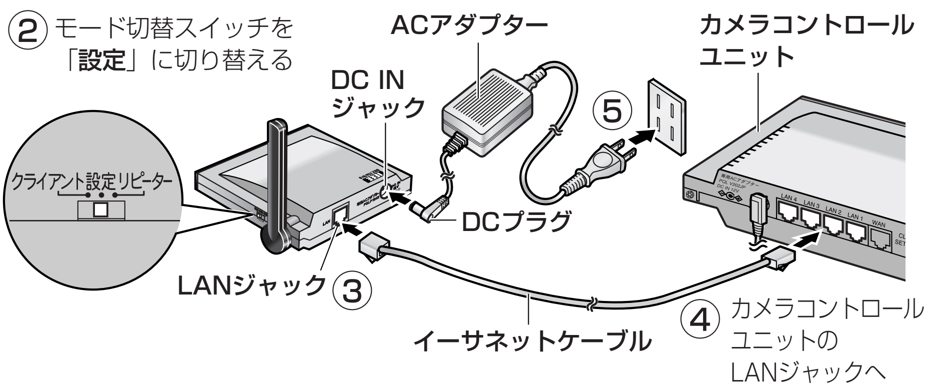
3 本製品のLANジャックに、付属のイーサネットケーブルのコネクターを差し込む

4 イーサネットケーブルのもう一方のコネクターをカメラコントロールユニットのLAN1～LAN4ジャックのいずれかに差し込む

● **必ず、本製品のモード切替スイッチが「設定」になっているのを確認して接続してください。**

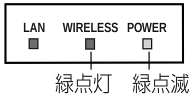
5 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し込み、ACコードをコンセントに差し込む

→ カメラコントロールユニットの無線設定が自動転送されます。



無線情報を設定する【自動設定】

POWERインジケーターが緑に点滅し、WIRELESSインジケーターが緑に点灯すれば無線自動設定完了です。



6 本製品のACコードをコンセントから抜く

7 カメラコントロールユニットからイーサネットケーブルを抜く

8 モード切替スイッチを「クライアント」または「リピーター」に切り替えてネットワーク機器に接続する
(接続のしかた ☞ 50、52ページ)

おねがい

- **自動設定がうまくいかない場合は、本製品とカメラコントロールユニットの電源を切り、再度設定を行ってください。**

おしらせ

- モード切替スイッチを「設定」にして本製品を起動すると、最初の約30秒間は「自動設定」モードになります。約30秒後に自動設定が完了していないときは、POWERインジケーターがオレンジに点灯し、「手動設定」モードに切り替わります。
- カメラコントロールユニットと接続するイーサネットケーブルは、クロスケーブル、ストレートケーブルどちらでも使用できます。
- カメラコントロールユニットで、以下の設定をしている場合は、自動設定はできません。
  - ・通信モードを「無効」に設定している
  - ・暗号化方式で「暗号化なし」、「WEP方式」以外を選択している

  自動設定で無線設定をする場合は、カメラコントロールユニットの設定を変更してください。

無線情報を設定する【手動設定】

手動設定する前に

■ あらかじめ、ご使用のカメラコントロールユニットの無線設定情報※をメモしておいてください。

※ 本製品の設定に必要な無線設定値：
SSID、通信モード、暗号化方式、WEPキー1～4
(無線設定情報の参照のしかたは、ご使用のカメラコントロールユニットの取扱説明書をご覧ください。)

■ 設定で使用するパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを下記のように入力してください。
IPアドレス：192.168.0.100または192.168.0.200
サブネットマスク：255.255.255.0

設定のしかた

- Windows XPをご使用の場合 ☞ 26ページ
- Windows 2000をご使用の場合 ☞ 28ページ
- Windows Meをご使用の場合 ☞ 30ページ
- Windows 98SEをご使用の場合 ☞ 30ページ

■ ご使用のパソコンがプロキシサーバーを使用しているときは、プロキシサーバーを使用しないように設定変更してください。(☞ 32ページ)

■ 無線情報を設定終了後、IPアドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーの設定は元に戻してください。

おねがい

- IPアドレスを固定してご使用の場合は、必ず設定値をメモしてください。

無線情報を設定する【手動設定】

パソコンのIPアドレスを設定する

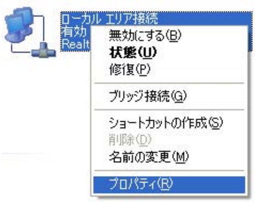
■ Windows XPの場合

Windows XPは「Administrator」または同等の権限をもつユーザー名でログオンする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

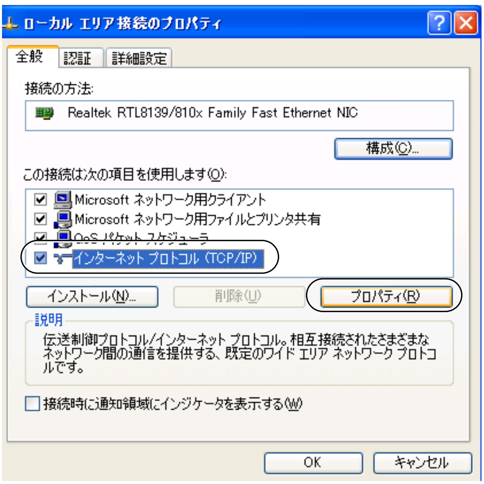
1 「スタート」メニューの「マイ コンピュータ」から「マイ ネットワーク」を選ぶ

2 「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ

3 「ローカル エリア接続」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」を選ぶ

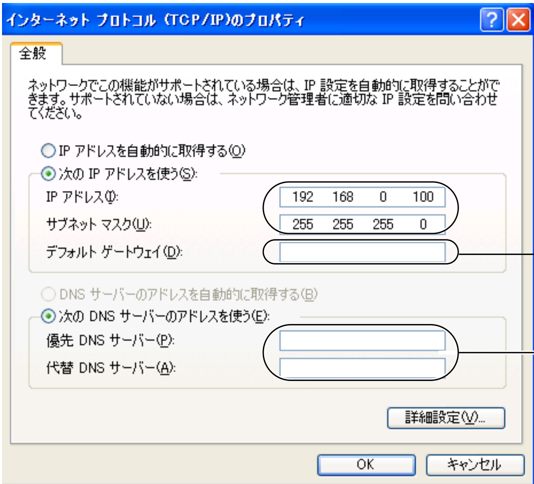


4 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、 プロパティ をクリックする



無線情報を設定する【手動設定】

5 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス **192.168.0.100**（または**192.168.0.200**）とサブネットマスク（**255.255.255.0**）を入力する



おしらせ

- **デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**

6 [OK] をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

7 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する（☞ 36ページ）

プロキシサーバーをご使用の場合は、32ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

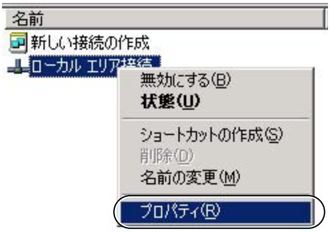
無線情報を設定する【手動設定】

■ Windows 2000の場合

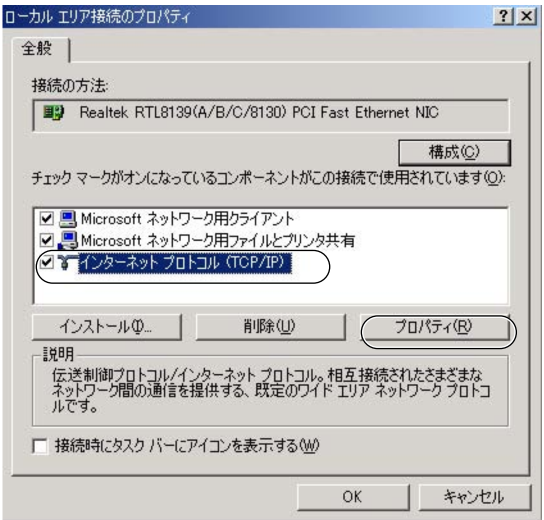
Windows 2000は「Administrator」または同等の権限をもつユーザー名でログオンする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

1 「マイ ネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ

2 「ローカル エリア接続...」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ

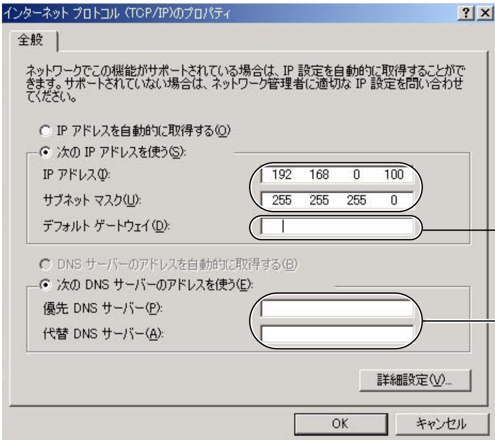


3 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、
[プロパティ] をクリックする



無線情報を設定する【手動設定】

4 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス**192.168.0.100**（または**192.168.0.200**）とサブネットマスク（**255.255.255.0**）を入力する



おしらせ

- **デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**

5 OK をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

6 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する（☞ 36ページ）

プロキシサーバーをご使用の場合は、32ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

無線情報を設定する【手動設定】

■ Windows Me/98SEの場合

1 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ

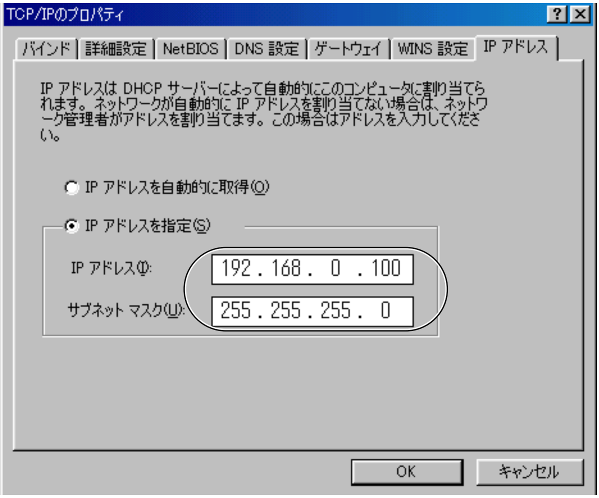
2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

●Windows Meを使っていて、ネットワークアイコンが見えない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

3 ネットワークカードに対応したTCP/IPを選び、ネットワークダイアログボックスの［**プロパティ**］をクリックする



4 「IPアドレス」タブをクリックし、「IPアドレスを指定」を選択して、IPアドレス**192.168.0.100** (または**192.168.0.200**) とサブネットマスク(**255.255.255.0**) を入力し、 OK をクリックする



おしらせ

- **デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**
- IPアドレスの設定を変更した場合、再起動を促すメッセージが表示されます。 はい をクリックして、パソコンを再起動してください。

5 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する(☞ 36ページ)

プロキシサーバーをご使用の場合は、32ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

無線情報を設定する【手動設定】

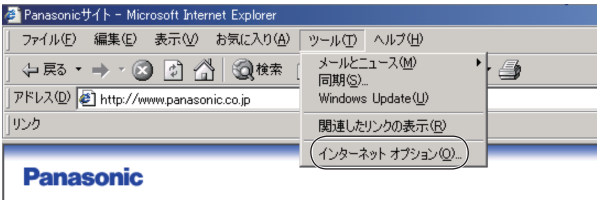
プロキシサーバーをご使用の場合

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合、本製品のメニュー画面にアクセスすることはできません。
次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

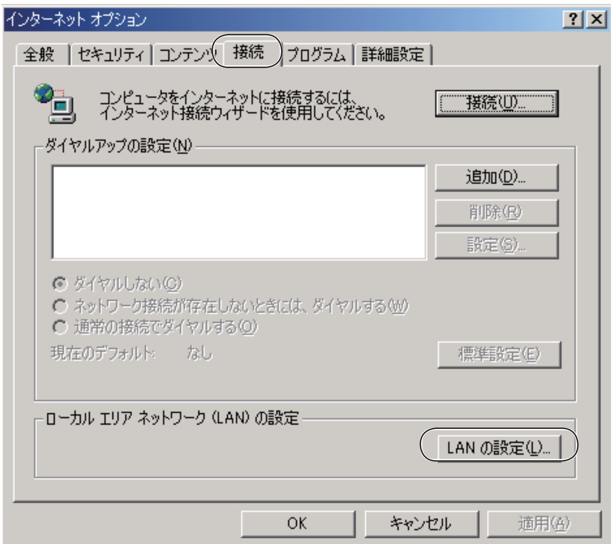
【Internet Explorer 6.0 の場合】

1 ウェブブラウザを起動する

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

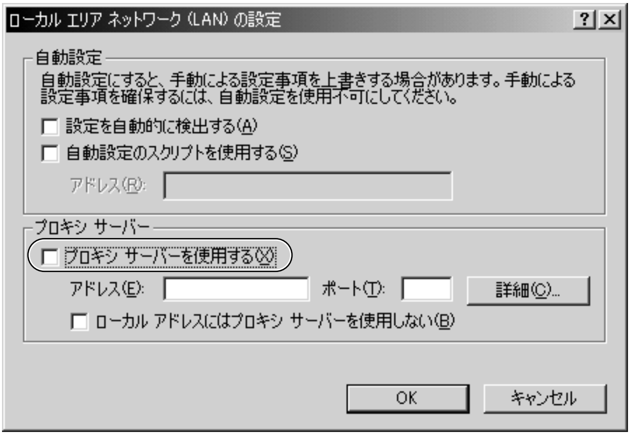


3 「**接続**」タブをクリックし、**LAN の設定** をクリックする



無線情報を設定する【手動設定】

4 ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定ダイアログボックスで、「プロキシ サーバーを使用する」のチェックボックスを確認する



- チェックボックスがチェックされていたら、チェックをはずして［OK］をクリックしてください。
- チェックボックスがチェックされていなかったら、［キャンセル］をクリックし設定を終了してください。

おねがい

- 「プロキシサーバーを使用する」にチェックが入っている場合は、チェックをはずす前に、設定されているアドレスとポート番号をメモしてください。
  無線情報の手動設定終了後は、「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れ、アドレスとポート番号の設定を元に戻してください。

無線情報を設定する【手動設定】

本製品のメニュー画面にアクセスするには、パソコンのIPアドレスを192.168.0.100または192.168.0.200、サブネットマスク255.255.255.0、プロキシサーバーを使用しないに設定変更する必要があります。(☞ 25～33ページ)

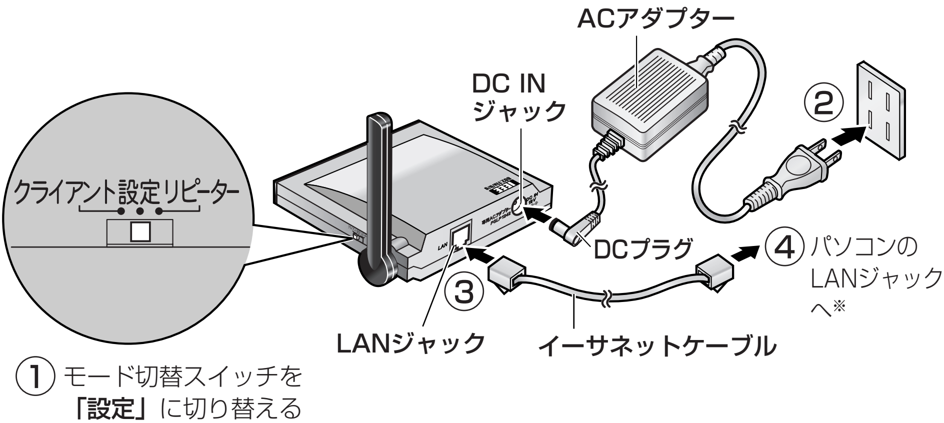
メニュー画面にアクセスする

1 本製品のモード切替スイッチを「設定」に切り替える
→ 下記イラスト参照

2 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し込み、ACコードをコンセントに差し込む

3 本製品のLANジャックに、付属のイーサネットケーブルのコネクターを差し込む

4 イーサネットケーブルのもう一方のコネクターをパソコンのLANジャックに差し込む

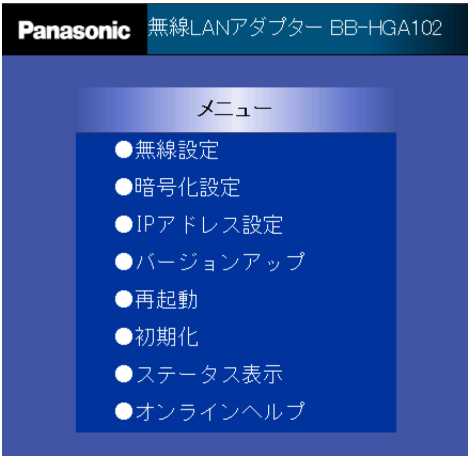


※ パソコンにはハブやルーターを介さず、直接接続してください。

無線情報を設定する【手動設定】

5 電源を投入して30秒後 (POWERインジケーターがオレンジジに点灯後) にパソコンのウェブブラウザを起動し、アドレス枠に半角で**http://192.168.0.252/** と入力し、 Enter を押す

→「メニュー」画面が表示されます。



- **無線設定**：無線情報を設定します。(☞ 36ページ)
- **暗号化設定**：暗号化情報を設定します。(☞ 41ページ)
- **IPアドレス設定**：IPアドレスを設定します。(☞ 43ページ)
- **バージョンアップ**：バージョンアップ (ファームウェアの更新) をします。(☞ 54ページ)
- **再起動**：再起動します。
- **初期化**：設定値を初期値 (工場出荷値) に戻します。(☞ 45ページ)
- **ステータス表示**：無線情報や機器情報を表示します。(☞ 47ページ)
- **オンラインヘルプ**：ヘルプ画面を表示します。

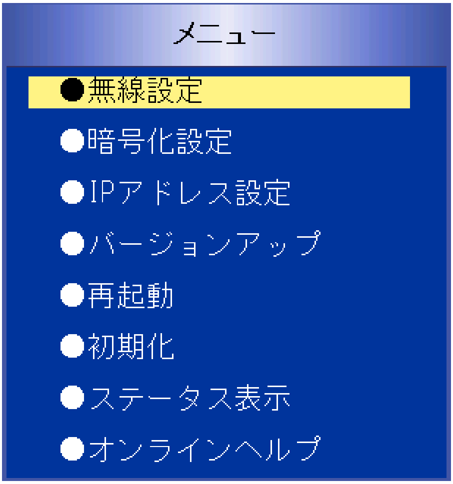
おしらせ

- モード切替スイッチを「設定」にして本製品を起動すると、最初の約30秒間は「自動設定」モードになります。
  その間に、ウェブブラウザから上記アドレスにアクセスしても、メニュー画面は表示されません。設定モードが「手動設定」モードに切り替わると、POWERインジケーターがオレンジに点灯します。(☞ 20ページ)

無線情報を設定する【手動設定】

無線設定をする

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
（☞ 34～35ページ）



2 「無線設定」をクリックする
●無線設定画面が表示されます。



無線情報を設定する【手動設定】

3 カメラコントロールユニットと同じ設定値を入力する

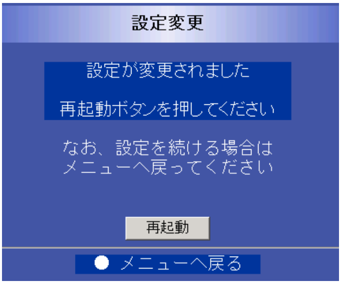
設定項目	設定内容
SSID※1	無線LAN では、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSID と呼びます。SSID は、無線LAN に接続できる各端末に設定し、同じSSID をもつ端末同士でのみ通信ができます。半角英数字記号32文字まで入力できます。（英字は大文字、小文字の区別があります。）
サイトサーベイ	[サーチ] をクリックすると電波エリア内にある無線機器を検出し、チャンネル、電波強度、SSIDなどを一覧で表示します。(☞ 40ページ) カメラコントロールユニットや本製品の最適な設置場所を調べるときに使用します。
通信モード	通信方式を、802.11b 、802.11b ／g、802.11g 専用、802.11a から選択できます。(☞ 36ページ) ●802.11bは、2.4 GHz帯で通信を行います。 ●802.11b/gは、2.4 GHz帯で通信を行います。 ●802.11g専用は、802.11g通信のみを行います。カメラコントロールユニットBB-HGW502の通信モードも、802.11g専用に設定すれば、802.11b/gの混在モードはサポートしないので、本来の802.11gの性能が発揮されます。※2 ●802.11aは、5.2 GHz帯で通信を行います。

※1 SSIDを「(空白)」、「ANY」、「any」とした場合、802.11規格に定める「ANY接続」となります。
この場合、接続先の無線機器が不定となり、他人の無線LANへの不正接続してしまうこともありますので、カメラコントロールユニットのSSIDを入力、設定の上、ご使用ください。
ANY接続を使用した事によるトラブルに関して当社は一切の責任を負いかねます。

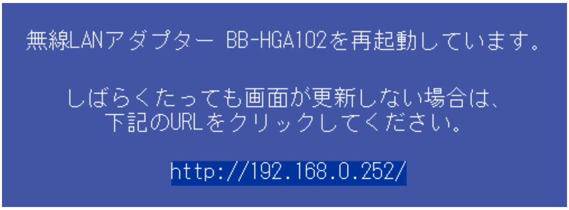
※2 802.11g専用を使用しても、他の2.4 GHz帯の無線機器（802.11b無線機器を含む）が存在すると、その影響を受けて通信速度が遅くなります。

4 入力が完了したら 保存 をクリックする

- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。



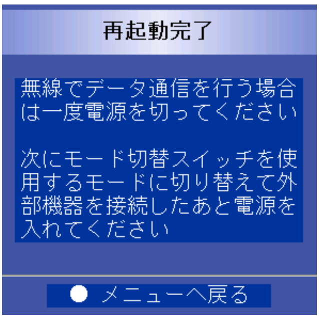
5 再起動 をクリックして本製品を再起動する



おねがい

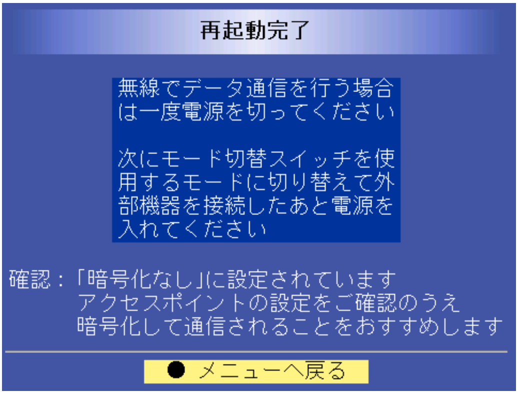
- 再起動後、再起動完了画面が表示されないときは、画面上に表示される http://192.168.0.252/ をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

【再起動完了画面】



無線情報を設定する【手動設定】

● 暗号化設定の暗号化方式で「暗号化なし」を設定している場合は、再起動後、下記画面が表示されます。セキュリティ確保のため、暗号化設定をしてください。(☞ 41ページ)

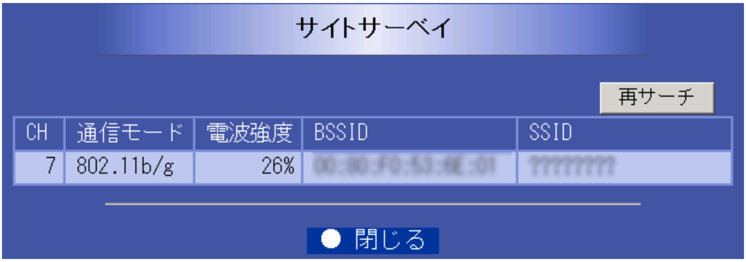


無線設定

無線情報を設定する【手動設定】

■ サイトサーベイを使用する

サーチ をクリックすると、電波エリア内にある無線機器から送信される信号を読み取って、無線機器を検出し、情報を一覧で表示します。



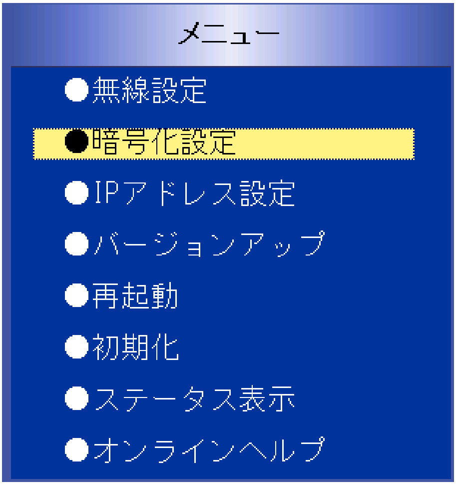
- **CH** ：使用しているチャンネルを表示します。
- **通信モード** ：使用している無線モード (802.11b、802.11b/g、802.11a) を表示します。
- **電波強度** ：受信電波の電界強度を相対的にパーセント表示します。
電波強度は通信品質を示すものではありません。
10%程度の表示でも、データ通信は可能です。
- **BSSID** ：無線機器のMACアドレスを表示します。
- **SSID** ：使用しているネットワークグループの識別名を表示します。
表示できるのは英数字のみです。
英数字以外の文字は「？」で表示されます。
また、アクセスポイントで無線セキュリティ機能が動作している場合に空白や「？」で表示されることもあります。
- 再サーチ ：無線機器を再度検出します。

おねがい

- 電波強度は外部環境の変化を受けるため、大きく変動します。
本製品の設置するときは、再サーチ をクリックして、再サーチを複数回行い、表示される電波強度を参考に設置場所を検討してください。

暗号化設定をする

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 34～35ページ)



2 「暗号化設定」をクリックする
●暗号化設定画面が表示されます。



無線情報を設定する【手動設定】

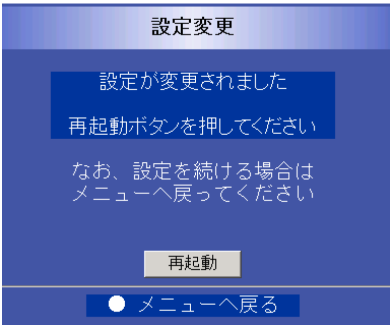
設定項目	設定内容
暗号化方式	無線LANのデータを暗号化して送受信する機能です。 ●セキュリティ上、WEP方式を選択することをおすすめします。
WEPキー1～ WEPキー4	カメラコントロールユニットと同じWEPキー1～WEPキー4のデータ、入力方法 (16進10文字 64 bit、16進26文字 128 bit、16進32文字 152 bit、英数5文字 64 bit、英数13文字 128 bit、英数16文字 152 bit) を選択してください。 使用するWEPキーは、ラジオボタンで選択してください。

おしらせ

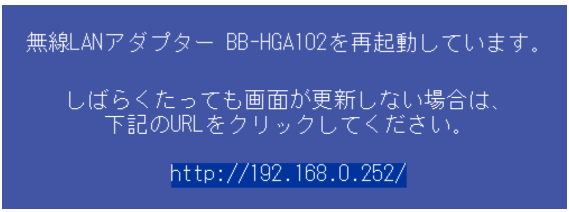
- WEPキーが152 bitに対応していないアクセスポイントでは128 bitまたは64 bitを選択してください。

3 入力が完了したら 保存 をクリックする

- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。



4 再起動 をクリックして本製品を再起動する



おねがい

- 再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるhttp://192.168.0.252/ をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

無線情報を設定する【手動設定】

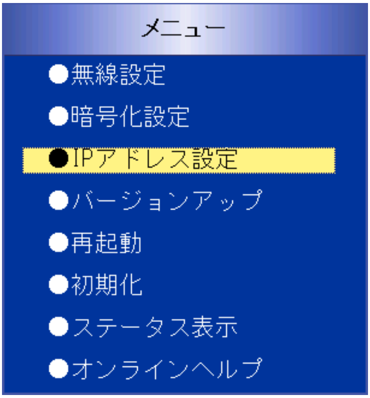
IPアドレスを変更する

本製品のIPアドレスを変更します。

おしらせ

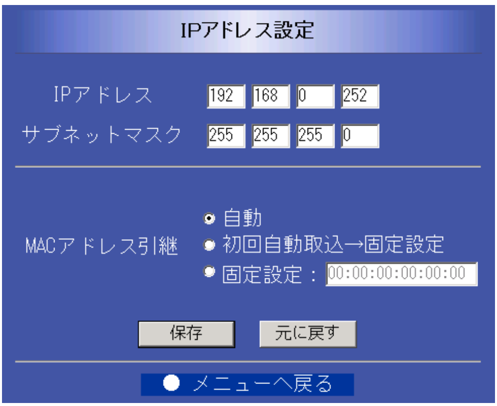
- **通常、IPアドレスの設定値を変更する必要はありません。特別に設定の必要がある場合のみ設定してください。**

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 34〜35ページ)



2 「IPアドレス設定」をクリックする

●IPアドレス設定画面が表示されます。



おしらせ

- MACアドレス引継切り替えは、バージョン1.10以降の対応となります。

無線情報を設定する【手動設定】

3 変更する「IPアドレス」を入力する

おねがい

- **ここで設定したIPアドレスが手動設定時にウェブブラウザでアクセスするIPアドレスになります。**
  変更後、本製品のメニュー画面は変更したIPアドレスへアクセスしてください。

4 MACアドレス引継を設定する

設定項目	設定内容
自動	クライアントモードで起動後に、最初に接続したネットワーク機器のMACアドレスで無線通信を行います。 ●通常は自動でお使いください。
初回自動取込→固定設定	クライアントモードで起動後に、最初に接続したネットワーク機器のMACアドレスを記憶し、以降このMACアドレスで無線通信を行います。
固定設定	有線LAN 機器のMACアドレスを手動で設定します。 ●相手からの要求があるまで通信を開始しないネットワーク機器(Tナビテレビ/チューナーやネットワークデジタル複合機WORKiOなど)を本製品のLANジャックに接続する場合は、「固定設定」にすることで、より安定した通信ができます。

おしらせ

- 「固定設定」に設定した場合は、登録したMACアドレスを持つネットワーク機器以外は、無線通信ができなくなります。
- 「初回自動取込」に設定した場合は、クライアントモードで起動後に最初に接続したネットワーク機器のMACアドレスが登録されます。他のネットワーク機器に接続し直すときは、再度設定をしてください。

5 入力が完了したら 保存 をクリックする

- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。

6 再起動 をクリックして本製品を再起動する

おねがい

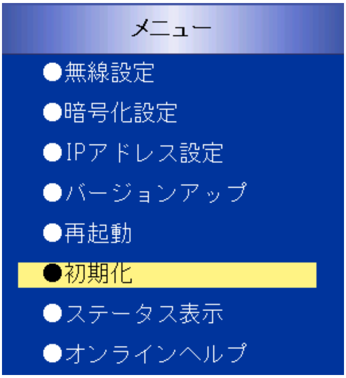
- 再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるアドレスをクリックしてください。
  それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

無線情報を設定する【手動設定】

初期化する

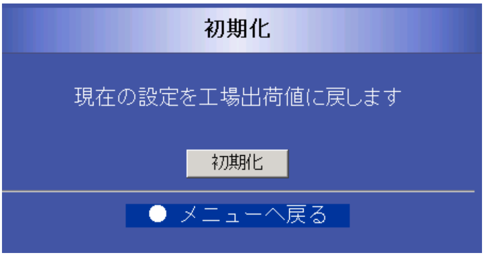
本製品の設定値を初期値 (工場出荷値) に戻します。

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 34〜35ページ)



2 「初期化」をクリックする

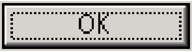
●初期化画面が表示されます。



3 [初期化] をクリックする

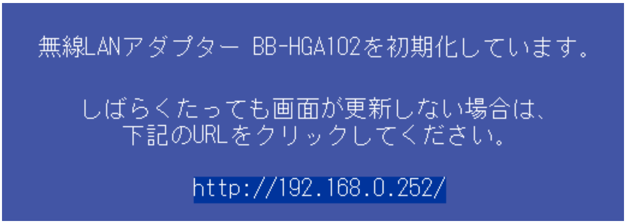
●初期化確認画面が表示されます。



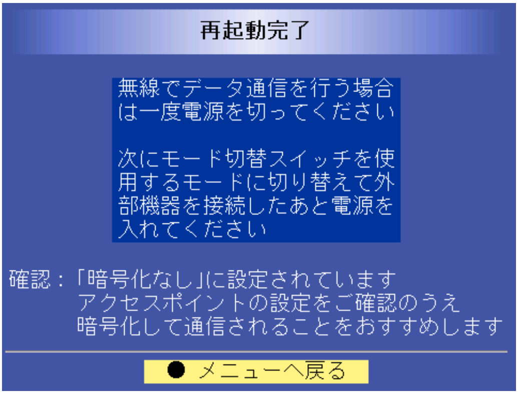
4 

をクリックする

●「初期化しています」の画面が表示されます。



● 再起動完了画面が表示されれば初期化完了です。



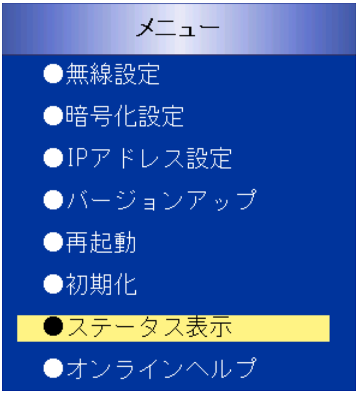
おしらせ

- 初期化後は、すべての設定値が工場出荷値 (☞ 66ページ) に戻ります。
- **本製品底面のCLEAR SETTINGボタンを押して初期化することもできます。** (☞ 57ページ)
- **初期化中は、本製品の電源を絶対に切らないでください。**

無線情報を設定する【手動設定】

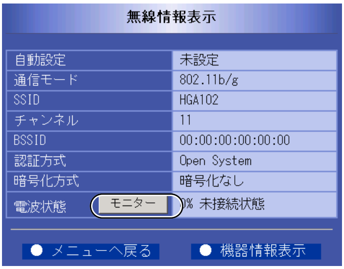
設定内容を確認する

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 34～35ページ)



2 「ステータス表示」をクリックする

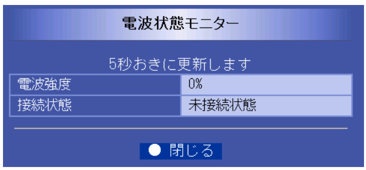
●無線情報表示画面が表示されます。





をクリック

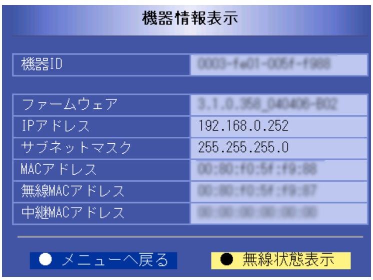
●電波状態モニター画面が表示されます。





をクリック

●機器情報表示画面が表示されます。



無線情報を設定する【手動設定】

【無線情報表示】

● 自動設定

自動設定モードでカメラコントロールユニットから無線設定情報を自動設定されたかどうか確認することができます。完了は過去に1度以上自動設定されたことを意味します。自動設定後、手動設定モードで設定した場合や初期化を行うと未設定になります。

● 通信モード

使用している通信方式 (802.11b、802.11b/g、802.11g専用、802.11a) を表示します。

● SSID

使用している無線ネットワークグループの識別名を表示します。

● チャンネル

接続している無線チャンネルを表示します。

802.11b、80211b/g、802.11g専用	：1 CH～13 CHが表示されます。
802.11a	：34 CH (5170 MHz)、38 CH (5190 MHz)、42 CH (5210 MHz)、46 CH (5230 MHz)

● BSSID

接続しているカメラコントロールユニットまたはリピーターのMACアドレスを表示します。

● 認証方式

使用している無線リンク認証方式を表示します。本製品は、Open System方式を採用しています。

● 暗号化方式

設定している暗号化方式 (暗号化なし、WEP方式) を表示します。

● 電波状態

電波強度※および接続状態を表示します。

未接続状態 (0%)、悪い (10 %未満)、普通 (10 %以上、60 %未満)、

良好 (60 %以上、100 %以下)



をクリックすると電波状態モニター画面が表示され、電波状態を5秒おきに表示します。

※ 電波強度は、通信品質を示すものではありません。
10%程度でも通信することは可能です。

無線情報を設定する【手動設定】

【機器情報表示】

- **機器ID**

  本製品の機器IDを表示します。

- **ファームウェア**

  本製品の現在のファームウェアバージョンを表示します。

- **IPアドレス**

  本製品のIPアドレスを表示します。このIPアドレスが、手動設定時のウェブブラウザでアクセスするIPアドレスとなります。

- **サブネットマスク**

  本製品のサブネットマスクを表示します。

- **MACアドレス**

  本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

- **無線MACアドレス**

  無線通信時に使用される送信側のMACアドレスを表示します。

- **中継MACアドレス**

  クライアントモードでカメラコントロールユニットに接続しているときに、LANポートに接続している有線ネットワーク機器のMACアドレスを表示します。

ネットワーク機器に接続する

本製品は、クライアントモード、リピーターモードを切り替えて使用することができます。

クライアントモード、リピーターモードを切り替えるには、本製品側面のモード切替スイッチで切り替えたあと、本製品の電源を抜き差ししてください。

本製品をクライアントモードで使用する

1 本製品のモード切替スイッチを「クライアント」に切り替える

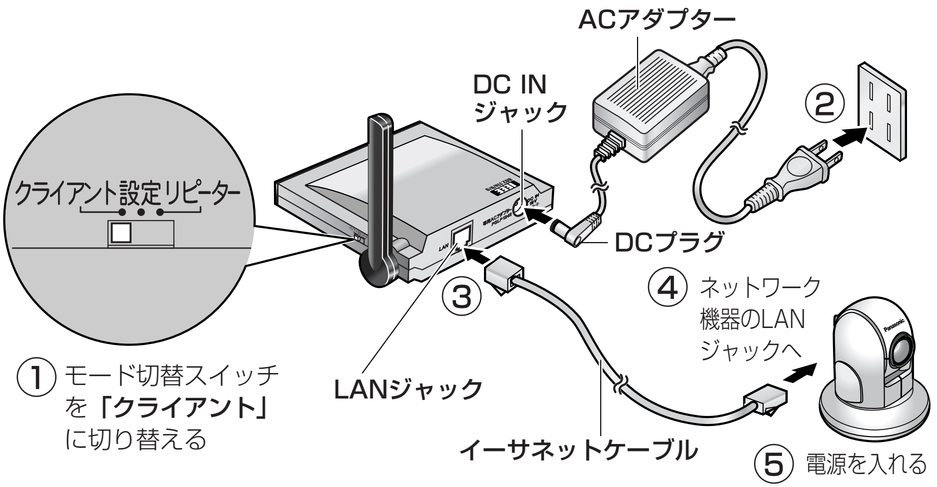
→ 下記イラスト参照

2 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し込み、ACコードをコンセントに差し込む

3 本製品のLANジャックに、付属のイーサネットケーブルのコネクターを差し込む

4 イーサネットケーブルのもう一方のコネクターをネットワーク機器のLANジャックに差し込む

5 最後にネットワーク機器の電源を入れる



ネットワーク機器に接続する

正しく設定、接続ができていれば、本製品を接続した有線ネットワーク機器が無線で使用できます。
(クライアントモードでの使用例は、8ページを参照してください。)

おしらせ

- **クライアントモードで本製品に接続できるネットワーク機器は1台のみです。イーサネットハブを使用した複数のネットワーク機器への接続はできません。**
- 無線の接続には時間がかかることがあります。本製品とのネットワークを短時間に構築するためには、カメラコントロールユニットを再起動してください。
- 通信モードIEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

おねがい

- 無線接続している機器に有線接続しないでください。
  アクセスポイントや無線ルーターなどの無線機器に対して無線接続と有線接続を同時に行うと、通信路にループ経路ができ、うまく通信ができなくなるだけではなく、機器に障害を起こす可能性があります。
  この場合は、いったんすべての機器の電源を切断し、正しい接続に直して、電源を入れてください。

■ MACアドレス引継機能について

本製品はMACアドレス引継ぎを自動で行います。
最初に、本製品のMACアドレスで、カメラコントロールユニットとリンクを行い、次に本製品に接続された有線ネットワーク機器のMACアドレス、もしくは「MACアドレス引継」(☞ 43ページ) で固定設定されたMACアドレスでカメラコントロールユニットとリンクを行います。

おねがい

- カメラコントロールユニットで「MACアドレスフィルタリング」を利用する場合は、本製品のMACアドレスと、本製品に接続している有線ネットワーク機器のMACアドレス、または「MACアドレス引継」(☞ 43ページ) で固定設定されたMACアドレスの2つのMACアドレスをカメラコントロールユニットに登録してください。

ネットワーク機器に接続する

本製品をリピーターモードで使用する

リピーターモードの本製品に接続できる無線機器は、クライアントモードの本製品のみです。

1 本製品のモード切替スイッチを「リピーター」に切り替える

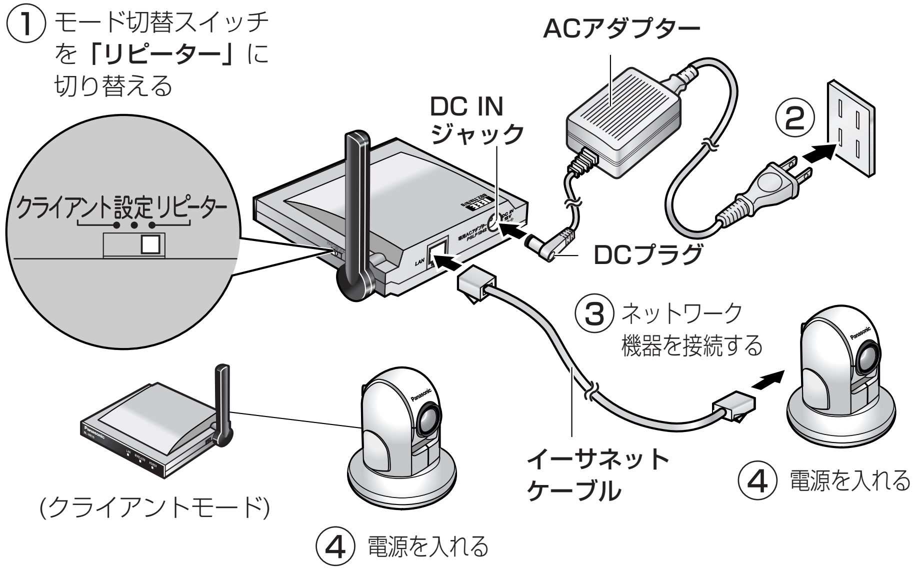
→ 下記イラスト参照

2 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し込み、ACコードをコンセントに差し込む

3 本製品とネットワーク機器を接続する、またはクライアントモードの本製品にネットワーク機器を接続する

- クライアントモードの本製品とネットワーク機器の接続のしかたは、50ページを参照してください。

4 最後にネットワーク機器の電源を入れる



ネットワーク機器に接続する

正しく設定、接続ができていれば、クライアントモードの本製品に接続した有線ネットワーク機器を無線で使用できます。
(リピーターモードでの使用例は、9ページを参照してください。)

おしらせ

- リピーターモードで本製品に接続できるネットワーク機器は、有線ネットワーク機器1台とクライアントモードの本製品2台までです。
  イーサネットハブを使用した複数台のネットワーク機器の接続はできません。
- 無線の接続には時間がかかることがあります。
- カメラコントロールユニットとのリンク接続ができない場合は、無線機器の中継はできません。
- ネットワーク構成を変更した場合は、無線機器の接続に時間がかかることがあります。本製品とのネットワークを短時間で構築するために、カメラコントロールユニットを再起動してください。
- 通信モードIEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

おねがい

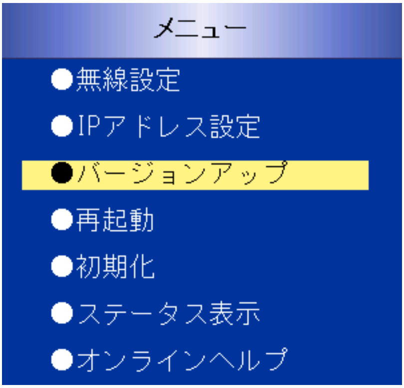
- カメラコントロールユニット（BB-HGW502）の「MACアドレスフィルタリング」の設定で「使用する」を選択する場合は、リピーターモードおよびクライアントモードで接続する本製品の無線MACアドレスと本製品に接続されたネットワーク機器のMACアドレスを登録してください。

  ※MACアドレスフィルタリング機能を使用すると、登録したMACアドレスをもつ無線機器以外は、カメラコントロールユニットに無線で接続することはできません。
- 本製品（BB-HGA102）以外の無線クライアント製品の、リピーターモード経由での無線動作保証はいたしかねます。

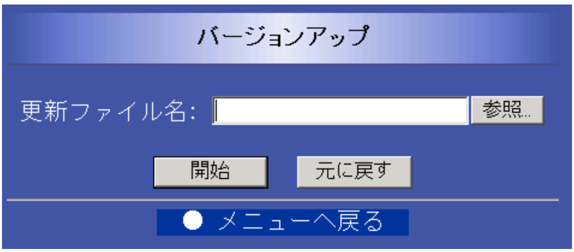
バージョンアップ

ファームウェアを更新します。
最新ファームウェアファイルは、パナソニックのサポートウェブサイト
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/
から入手することができます。
更新を行う前に、最新のファームウェアファイルをパソコンにダウンロードしてください。

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 34〜35ページ)



2 「バージョンアップ」をクリックする
- バージョンアップ画面が表示されます。

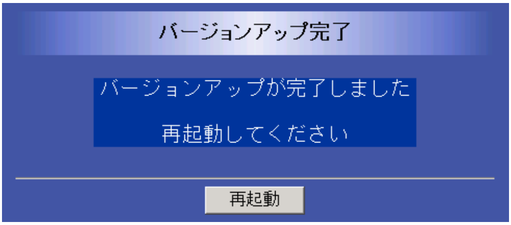


バージョンアップ

3 **参照...** をクリックして、ダウンロードしたファームウェアファイルを選択する

4 **開始** をクリックする

→ バージョンアップを開始します。
約20秒後、下記画面が表示されます。



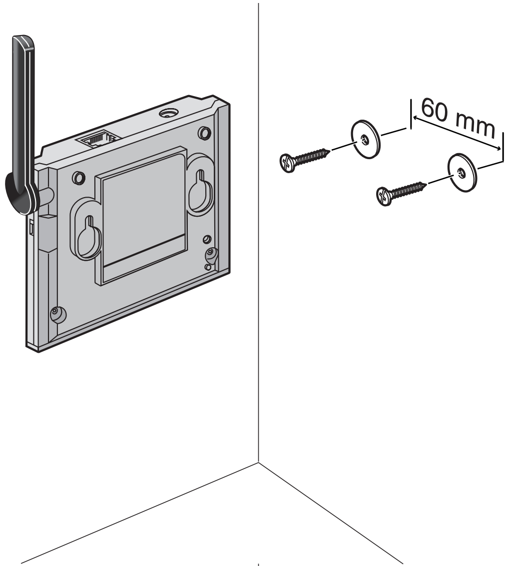
5 **再起動** をクリックして本製品を再起動する

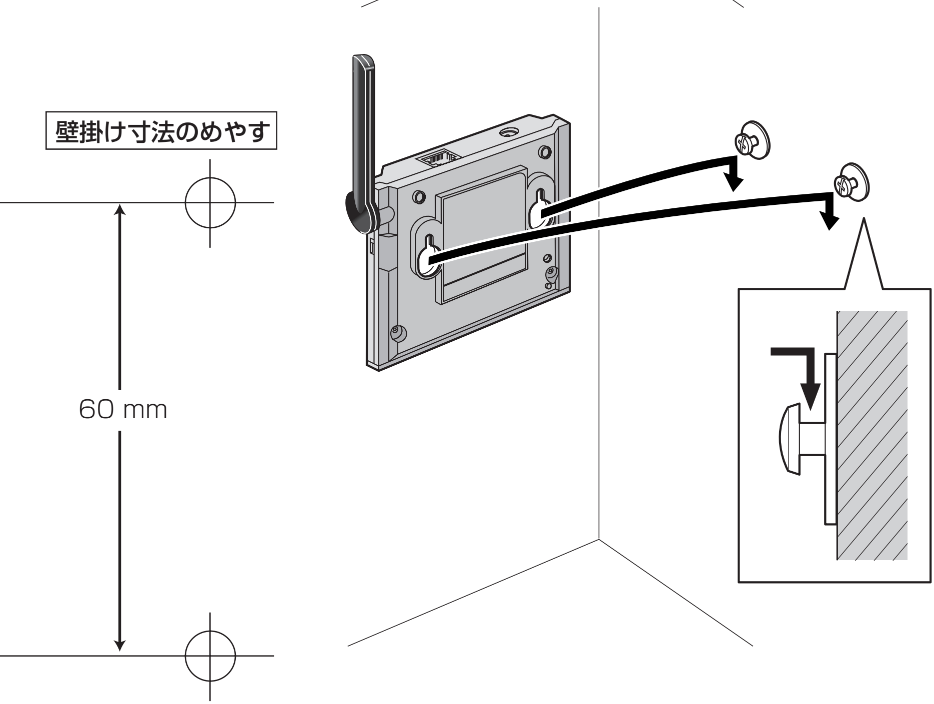
おねがい

- 再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されない場合は、パソコンを再起動してください。
- バージョンアップする場合は、「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンをご確認のうえ行ってください。(☞ 47ページ)
- バージョンアップ後は「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認してください。(☞ 47ページ)
- バージョンアップ中は、本製品およびパソコンの電源を絶対に切らないでください。

壁に掛けて使う

壁掛け寸法のめやすを使ってねじ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本製品をねじに掛けて、静かに下にすべらせる

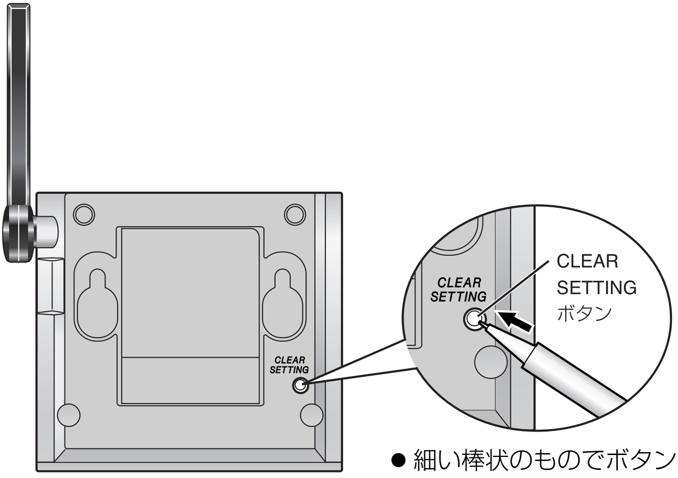




初期値(工場出荷値) に戻す

CLEAR SETTINGボタンを押すと設定した値は、初期値 (工場出荷値) に戻ります。
本製品のメニュー画面にアクセスできなくなったときなどにご使用ください。
ただし、無線情報が工場出荷値に戻るので、ネットワーク機器が無線で接続できなくなります。
再度イーサネットケーブルでカメラコントロールユニットと接続し、自動設定を行う、または、パソコンに接続して、無線情報の設定を手動で行ってください。(☞ 25～44ページ)

- 電源ONの状態で、CLEAR SETTINGボタンをボールペンの先などの細い棒状のもので約1秒押しつづけてください。
- POWERインジケーターがオレンジ点滅後、再起動します。
- 再起動中は、POWERインジケーターが点灯状態になるまで、決して電源コードを抜かないでください。



- 細い棒状のものでボタンを約1秒押してください。

CLEAR SETTINGボタンは本製品の底面にあります。

その他

故障かなと思ったとき

症　状	原因と対策
自動設定で無線情報が自動転送されない	● モード切替スイッチが「設定」になっていない。 → 切替スイッチを「設定」に切り替えて電源を入れなおしてください。 ● 本製品とカメラコントロールユニットが正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(☞ 23ページ) ● 本製品とカメラコントロールユニットの電源を切り、再度設定を行ってください。 ● 本製品とカメラコントロールユニットを「リピーター」または「クライアント」モードで接続した。 → 両機器からイーサネットケーブルを抜き、再度自動設定を行ってください。(☞ 23ページ) ● カメラコントロールユニット (BB-HGW502) 以外のアクセスポイントを使用している → 自動設定はカメラコントロールユニット以外はご使用になれません。 ● カメラコントロールユニットで以下の設定をしている場合は、自動設定はできません。 ・通信モードを「無効」に設定している ・暗号化方式で「暗号化なし」、「WEP方式」以外を選択している
本製品のメニュー画面が表示されない	● 自動設定中になっている → 電源投入後、約30秒間は自動設定中のためアクセスできません。 ● モード切替スイッチが「設定」になっていない。 → 切替スイッチを「設定」に切り替えて電源を入れなおしてください。 ● 本製品とパソコンが正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(☞ 34ページ) ● 本製品とパソコンがルーターやハブを経由して接続している。 → 本製品とパソコンを直接イーサネットケーブルで接続してください。 ● パソコンのアプリケーションソフトウェアでファイアウォールの機能が有効となっている常駐ソフトウェアがある。 → 常駐ソフトウェアの設定でファイアウォール機能を無効にするか、本製品のIPアドレスが通過できるように設定してください。

故障かなと思ったとき

症　状	原因と対策
本製品のメニュー画面が表示されない	● 本製品のIPアドレスを変更している。 →ウェブブラウザのアドレス枠に新しいIPアドレスを入力してください。もし変更したIPアドレスを忘れた場合は、CLEAR SETTINGボタンを押し、IPアドレスを初期値(192.168.0.252) に戻してください。 ● パソコンのIPアドレスが設定されていない。 → パソコンのIPアドレスを192.168.0.100または192.168.0.200に設定してください。 (☞ 25～31ページ) ● 無線LANアダプターにアクセスするウェブブラウザの設定が、プロキシサーバーを経由している。 →プロキシサーバーを経由しないように設定してください。(☞ 32ページ) ● Internet Explorerのバージョンが、6.0以前のものを使用している。 → Internet Explorerのバージョンを6.0以降にバージョンアップしてください。 ● 電源を投入して約30秒間は自動設定モードになっている。 → 約30秒後に自動設定が完了していなければ、手動モードに切り替わり、メニュー画面が表示されます。
ネットワーク機器が無線で接続できない	● モード切替スイッチがまちがったモードになっている。 → 有線ネットワーク機器と接続する場合は「クライアント」に、クライアントモードの本製品を中継する場合は「リピーター」に切り替えて、電源を再起動してください。 ● 本製品とネットワーク機器が正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(☞ 50～53ページ) ● ネットワーク機器の電源を入れたあと、本製品の電源を入れた。 → 本製品の電源を入れたあとにネットワーク機器の電源を入れてから、使用してください。 ● 本製品以外の無線ネットワーク機器の電源を入れ直すなどしてください。 → カメラコントロールユニットやハブなどの再起動により、無線ネットワーク機器構成の記憶が初期化され、正常化する場合があります。

故障かなと思ったとき

症　状	原因と対策
ネットワーク機器が無線で接続できない	● クライアントモードでMACアドレス引継が固定設定になっている。 → 固定設定している外部有線機器と異なる有線機器を接続している場合は、「自動」または「初回自動取込→固定設定」に設定を切り替えてください。(☞ 43〜44ページ)
POWERインジケーターが点灯しない	● 専用のACアダプターを使用しているか確認してください。 ● 本製品の電源が入っていない。 → 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
バージョンアップが正常に完了しなかった	● バージョンアップ中に、電源オフ、その他の理由でバージョンアップが中断された。 → 再度バージョンアップを行ってください。(☞ 54ページ)
無線情報を手動で設定後、パソコンがインターネットに接続できなくなった	● パソコンのIPアドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーが変更した値になっている。 → 手動設定後、元の設定値に戻してください。
サイトサーベイの再サーチをクリックすると前回と同じ表示をする	● ウェブブラウザ Internet Explorer 6.0の標準設定では、前回表示している画面を保存しているため、同じ表示をすることがあります。 → 毎回表示し直すには、ウェブブラウザにてツールのインターネットオプションを開きインターネット一時ファイルの設定で「ページを表示するごとに確認する」に設定してください。
無線接続が不安定である	● 他の無線LANと通信チャンネルが重なっている。 → カメラコントロールユニットの通信チャンネルを変更することで改善されることがあります。 ● 電波障害となる電子機器や障害物があります。 → 障害となる電子機器や障害物を移動することで改善されることがあります。(☞ 18ページ)
POWERインジケーターが赤点灯のまま変わらない	● 本製品が故障しています。 →お買い上げの販売店へお申しつけください。

用語解説

英　字

BSSID (Basic Service Set Indentifier)	一群の無線リンクを束ねるアクセスポイントのグループの識別子です。 通常、アクセスポイントのMACアドレスと同じ値です。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報（IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど）を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。
DNS (Domain Name System)	ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.co.jp”などがあります。
IEEE802.11a	IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11aは、5.2 GHz帯を使用する最高54 Mbpsの高速な無線LANの規格です。屋内でのみご使用ください。屋外での使用は法律により禁止されています。
IEEE802.11b	IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4 GHz帯を使用する最高11 Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。
IEEE802.11g	IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。 802.11gは、IEEE 802.11bと互換性を持ち、同じ2.4 GHz帯を使いながら、最大で54 Mbpsのデータ通信が行えます。

用語解説

IPアドレス (Internet Protocol Address)	IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器(端末)では、世界中でユニークな(単一な)IPアドレスを割り振っておく必要があります。
LAN (Local Area Network)	フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。
MAC (Media Access Control) アドレス	LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
ONU (Optional Network Unit)	光ファイバー加入者通信網において、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置です。
Open System	IEEE 802.11 規格では、Open System とShared Key の、2つの認証サービスをサポートしています。Open System は、公開鍵暗号とも呼ばれています。
Shared Key	IEEE 802.11 規格では、Open System とShared Key の、2つの認証サービスをサポートしています。Shared Key は、共有鍵暗号とも呼ばれ、メッセージの送信者と受信者が一組の鍵を共有し、それを用いてデータを暗号化、復号化します。
SSID	無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。「ESSID」とも言います。半角英数字記号1～32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。) 自動設定ではカメラコントロールユニットのSSIDが転送されます。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP (Transmission Control Protocol)とUDP (User Datagram Protocol) の2つです。FTP 、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。

用語解説

URL (Uniform Resource Locator)	インターネット上のリソースを指定する方式です。 具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。
WEPキー	無線通信における暗号化技術を意味します。第三者によるデータの傍受を防ぐために、送信パケットを暗号化することでセキュリティを高める技術です。 16進数入力の場合は0～9、A～Fもしくはa～fの入力ができます。英数字入力の場合はアスキー文字の入力ができます。
WEPキーサイズ	64/128/152 bitの暗号化方式が選択できます。 備考：暗号化は、64 bit、128 bit、152 bitの順でセキュリティ強度が高くなります。 逆に、実質の通信速度は、なし、64 bit、128 bit、152 bitの順で遅くなります。
WEP認証方式	IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、2つの認証サービスをサポートしています。
WDS (Wireless Distribution System)	無線を使用したアクセスポイント間通信機能です。 本製品のリピーターモードは、WDS機能を使用しています。 注：本製品のリピーターモードは、必ずカメラコントロールユニットと同時にご使用ください。（WDS仕様はメーカーごと、製品ごとに異なります。）

あ

イーサネット (Ethernet)	Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。
ウェブサーバー	画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。 ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列（ワード）が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているので、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。
ウェブブラウザ	ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。 Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

用語解説

か

ゲートウェイ

ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター(ルーターなど)でネットワークのパケットの道先案内をします。
ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

クライアント

有線機器を接続して、アクセスポイントに無線で接続することを可能にします。
クライアントモードで使用することにより、有線機器を無線機器として使用することができます。

さ

サブネットマスク

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

た

ダウンロード

遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。

チャンネル

無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。

ドメイン

インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

用語解説

は

パケット	通信データを一定の大きさに分割し、アドレスをつけて転送するときのデータの単位のことです。
ハブ	10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、複数のポート数をもつ装置があります。
バージョンアップ	本製品は、ファームウェア(本製品を動作させるプログラム)を更新することができます。最新ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイト http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/ に掲示されます。
ファームウェア	本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。
ファイアウォール	インターネットを利用する際のセキュリティの1つ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします
プロキシサーバー	組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

ら

リピーター	無線機器とアクセスポイントの中継機器として使用できます。 リピーターモードで使用することにより、より広い範囲、また死角エリアへの中継を可能とします。

本製品の初期値（工場出荷値）

■ 無線設定

SSID	: HGA102
通信モード	: 802.11b/g

■ 暗号化設定

暗号化方式	: 暗号化なし
WEP選択時	
• WEPキー1	: — (未入力) 英数13文字 128 bit
• WEPキー2	: — (未入力) 英数13文字 128 bit
• WEPキー3	: — (未入力) 英数13文字 128 bit
• WEPキー4	: — (未入力) 英数13文字 128 bit

■ IPアドレス設定

IPアドレス	: 192.168.0.252
サブネットマスク	: 255.255.255.0
MACアドレス引継	: 自動

製品仕様

無線インターフェース

項　目	仕　様
規格	IEEE802.11b、IEEE802.11b/g、IEEE802.11g専用、 IEEE802.11a (無線LAN 標準互換プロトコル)準拠、 ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯小電力データ通信システム規格)
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS方式)、 直交波周波数分割多重変調(OFDM方式)、単信(半二重)
周波数範囲	2,412 ～2,472 MHz (計13 CH : 802.11b、 802.11b/g、 802.11g専用) 5,170 MHz、5,190 MHz、5,210 MHz、5,230 MHz、 (計4 CH : 802.11a)
チャンネル	1 ～13 CH (802.11b、802.11b/g、802.11g専用) 34 CH、38 CH、42 CH、46 CH (802.11a) 各モードでオートスキャン
データ転送速度	＜自動フォールバック機能＞ 1/2/5.5/11 Mbps※(IEEE802.11b) 1/2/5.5/11 Mbps※ & 6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps※ (IEEE802.11g) 6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps※ (IEEE802.11a)
機器種別	小電力データ通信システム
有線 – 無線変換機能	イーサネット対応機器を無線化
アクセス方式	● クライアントモード ● リピーターモード
アクセス制御	● SSID ● ANY接続拒否対応 ● 無線ステルス機能対応
セキュリティ	WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化機能 (64 bit/128 bit/152 bit)

※表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

●本製品にはAtheros Communications社製の無線チップセットを使用しております。

製品仕様

無線インターフェース (つづき)

項　目	仕　様
通信飛距離	屋内見通し 約120 m、屋外見通し 約600 m※ ※クライアントモードの本製品とカメラコントロールユニットとの通信時、クライアントモードの本製品とリピーターモードの本製品との通信時の飛距離 ● 通信距離は環境条件により変化します。 鉄筋コンクリートの建物および大型金属製品、電子レンジの近くなどでは、通信距離が短くなることがあります。 間に障害物(壁や家具、什器)などがある場合、周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。 ● IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

LANインターフェース (有線LAN部)

項　目	仕　様
MDI/MDI-X	クロス/ストレートケーブル自動認識
規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠 (10Base-T/100Base-TX)
対応プロトコル	TCP/IP (HTTP)
アクセス方式	搬送波感知多重アクセス (CSMA)/衝突検出方式 (CD)
データ転送速度	10 Mbps/100 Mbps (オートセンス)
ポート数	1ポート（RJ−45コネクター）

ユーザーインターフェース

項　目	仕　様
インジケーター表示	POWERインジケーター (緑/オレンジ) WIRELESSインジケーター（緑） LANインジケーター（緑）
モード切替スイッチ	クライアントモード/設定 (自動/手動)モード/リピーターモード

製品仕様

対応パソコン (手動設定時)

項　目	仕　様
OS	Windows XP/2000/Me/98SE
インターフェース	10/100 Mbpsの有線LANポート
メモリー	64 MB以上
プロトコル	TCP/UDP/HTTP
通信プロトコル	TCP/IP
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6.0以降 (日本語版)

その他

項　目	仕　様
ACアダプター	入力：AC100 V　50/60 Hz (品番：PQLV202JP)
電源	出力：DC12 V, 0.75 A
消費電力	最大約4.5 W
外形寸法	約110 mm x 91 mm x 27 mm ※アンテナ収納状態
質量	約 120 g (本体のみ)
動作環境	温度 0～40 ℃、湿度 20～85 %（結露なきこと）

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、この無線LANアダプターの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

58〜60ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へお申しつけください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	無線LANアダプター
品　番	BB-HGA102
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- **停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。**

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

保証とアフターサービス

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「パナソニック　システムお客様ご相談センター」にお問い合わせください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

0120-878-410（パナハヨイワ）

受付時間：9時〜17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

※「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」の名称は、「パナソニック システムお客様ご相談センター」に変わりました。

その他

■パナソニックのサポートウェブサイト
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/)

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検 **長年ご使用の無線LANアダプターの点検を!**

こんな症状はありませんか?		このような症状のときは
こんな症状はありませんか?	● ACアダプターのコードが傷んでいる。 ● こげくさい臭いや異常な音がする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACコードのプラグを抜いて、必ず**販売店に点検を**依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	BB-HGA102
販　売　店　名	電話（　　　）　―		

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目３番８号

PSQX3184WA KK0407HK7010